

第 263 回月例情報市場

2025. 12. 17 ふれあい福祉センター4 階会議室

活動紹介

第 263 回情報市場が開催され、木賣副会長が進行を務めました。参加者は支援ネット関係者、NPO センター職員、ボランティア活動者など多岐にわたりました。

高沢さんは支援ネットと山楽会で活動しており、大豆島の老人ホームでミニ門松作りを行ったことを報告しました。

若槻さんはフリーで本田さんの活動に参加。

本田さんはホワイトナッツの活動で精神保健福祉ボランティアや緩和ケア病棟での終末医療のケアを週一回、30 年近く継続していることを報告しました。

西沢さんから天空の里いもい農場の講演会について詳細な説明がありました。この活動は支援ネットからの支援をきっかけに 12 年間継続し、ここ 3 年間は参加者が 1000 人を超える規模に成長。信州大学のさくら先生を招いた講演会を企画し、中山間地の可能性について議論する予定。会場は長野稲里店コープルームで、赤い羽の助成金を活用して開催されます。

阿部さんからは複数の情報提供がありました。いもいリビングラボの活動紹介、長野県災害時支援ネットワークの松本での訓練報告、県立大学学生作成の災害時レシピ冊子の配布などが行われました。特に重要な案件として、12 月 20 日土曜日開催のボランティア活動市民会議について説明がありました。この会議はふれあい福祉センターなどの公共施設利用について、ボランティアと行政が共に考える場として設定されています。本田さんがゲストとして登壇予定です。

原さんからは子宮頸がんワクチンとコロナワクチンの副作用について詳細な説明がありました。10 年前の子宮頸がんワクチン接種後の副作用問題、その後の積極勧奨再開、コロナワクチンによる被害報告について言及し、現在の子どもワクチン接種回数が 1986 年頃の 5 本から小学 6 年生までに約 40 回以上に増加していることも報告しました。

吉田さん（セカンドボタン）からは学生服リユース事業の現状と課題について報告がありました。営利事業として古物商を取得して運営していますが、学校

への協力依頼時に営利であることを理由に断られる問題が発生しています。市役所での相談でも適切な窓口がなく、商工会議所でも長野市のハードルが高いとの回答を得ています。場所は非公開で予約制により運営し、対面販売で安全性を確保しています。保管場所不足やミシン教室開催の検討など、事業拡大に向けた課題を抱えています。

木賣副会長からは西敬寺での報恩講と林英二さんの講演会について案内がありました。12月21日開催予定で、笑顔プロジェクトの林さんが能登での重機ボランティア活動について講演します。燃料費募金への協力依頼も行われました。

事務局の倉石からは込山会長の中野市社協でのちよいボラ養成講座が40人満員となったこと、大豆島住民自治協議会からのたすき80本の提供について報告がありました。

高沢さんからレコードプレイヤーの問い合わせがあり、レコードカフェなどの関係者への相談が提案されました。

【物品提供情報】

提供元：大豆島地区住民自治協議会

物 品：幅3センチ、長さ144cmのたすき80本（写真参照）



次回の情報市場は、

1月21日（水）19時～20時 ふれあい福祉センター4階会議室

お待ちしております！